

「細川紙」世界へ！

～「2015総爺和風文化祭」～に参加



昨年11月に「細川紙」がユネスコ無形文化遺産へ登録されたことを受け、中華民国台南市にて行われた「2015総爺和風文化祭」に東秩父村・小川町が参加しました。

台南市総爺芸文センター（旧工場長宿舎）にて行われ、10月17日（土）から18日（日）まで開催されました。

イベント内容は、和紙職人による手漉き和紙の実演、また、来場者の手漉き体験、そして旧工場長宿舎にて、「細川紙特展」—世界無形文化遺産—と題した展示会が行われました。

イベントに訪れた方は、溜め漉きによるハガキ作りや手漉き和紙体験を行っていただき、日本の手

漉き和紙の魅力を味わっていただきました。

「細川紙特展」—世界無形文化遺産—では細川紙をはじめ様々な用途で使われる和紙、製作工程、製作道具、和紙を使用した工芸品の展示を行い、ユネスコ無形文化遺産登録を受けた「細川紙」の魅力、そして現在の生活の中でどのように和紙が利用されているかを見ていただきました。この「細川紙特展」は12月13日（日）まで展示されています。

2日間のイベントを通じての来場者は約300人でした。これを機に、台南市と文化・産業・芸術・観光等の分野で連携・交流を進めていきます。



東秩父を全力応援！

地域おこし協力隊通信



5,000人で作る細川紙ちぎり絵アートが完成しました！

11月26日（木）の完成お披露目会で、村長と細川紙技術者協会鷹野会長に最後の1ピースを貼ってもらい、みんなで作る細川紙ちぎり絵アートが完成しました。

細川紙ユネスコ無形文化遺産登録1周年を村内外の皆さんとお祝いできないかと考え企画し、10月23日～11月23日の1か月間で延べ6691人の方にご協力いただきました。

多くの方のご協力のおかげで、縦1.4m×横4mの大きさのちぎり絵アートには美しい「東秩父の春の山里」の風景が浮かび上がりました。

スタートした時点では、本当に絵になるのか？と不安な思いもありましたが、和紙の里へ何度も足を運んでくれた方、「今何人？」などいつも声をかけてくださった方、ちぎり絵サポーターとして協力してくださったスタッフの方などのおかげで完成の日を迎えることができました。本当にありがとうございました。

和紙を通じて村内外の皆さまとのつながりを示したこのアート作品は、和紙の里製造所内に展示してあります。

皆さんと作り上げた“心のつながり”をぜひご覧ください。



■展示場所 和紙の里 エントランス付近 ■問合せ 産業建設課 電話 82-1223